

# 平成 30 年度 病虫害発生予察注意報第 1 号

平成 30 年 4 月 10 日  
静岡県病虫害防除所長

病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

対象作物：落葉果樹（うめ、もも、キウイフルーツ、なし、かき等）、びわ、かんきつ

## 1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：4月～8月
- (3) 発生程度：多い
- (4) 防除時期：4月～8月

## 2 注意報発表の根拠

- (1) 昨年、果樹カメムシ類の餌であるヒノキ毬果の結実量が県内全域で多かった。このため9月以降の成虫発生量が多く、9・10月の予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺数は平年の2.2倍（図1、表1）、ツヤアオカメムシ誘殺数は平年の9.9倍に達した（図2、表2）。
- (2) 本年1・2月に雑木林の落葉中で越冬しているカメムシ類成虫を調査した。県下全域の平均越冬成虫数はチャバネアオカメムシが2.4頭/m<sup>2</sup>（平年0.7）（図3、4）と平年より多かった。
- (3) 本年はカメムシ類の越冬量が多く、春季から果樹園へ多数飛来する可能性がある。

## 3 防除方法

- (1) 越冬成虫は8月中旬まで生存するため、うめ、もも、びわ園地では着果期から収穫期まで、キウイフルーツ、なし、かき、かんきつ園地では夏季まで加害が続くと予想される。
- (2) 今後はカメムシ類の飛来に注意し、ほ場で寄生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いので、地域での一斉防除が効果的である。スギ、ヒノキ林の隣接地域では特に注意する。
- (3) 農薬による防除については「農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準（ホームページ<http://www.s-boujo.jp/>）」を参照する。
- (4) 今後の発生状況は予察灯・フェロモントラップ誘殺消長が参考になる。誘殺情報は病虫害防除所ホームページ（<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>）で提供している。
- (5) 不明な点については病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、または最寄りの農林事務所、農協等に問い合わせる。



図1 チャバネアオカメムシ成虫

表1 9・10月のチャバネアオカメムシ予察灯誘殺数

	2017年 (頭)	平年 (頭)	平年比
浜松市北区大平	782	483	1.6
磐田市敷地	1799	583	3.1
磐田市富丘	217	179	1.2
3地点合計	2798	1245	2.2



図2 ツヤアオカメムシ成虫

表2 9・10月のツヤアオカメムシ予察灯誘殺数

	2017年 (頭)	平年 (頭)	平年比
浜松市北区大平	1481	129	11.5
磐田市敷地	4289	345	12.4
磐田市富丘	3921	503	7.8
3地点合計	9691	976	9.9

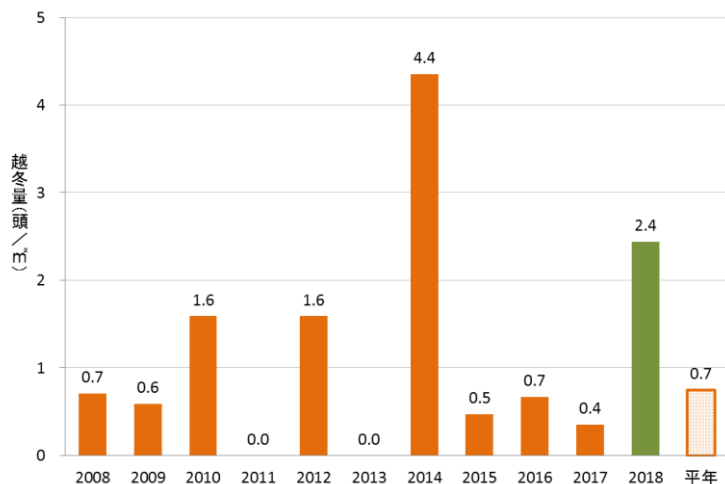


図3 チャバネアオカメムシの年次別越冬量

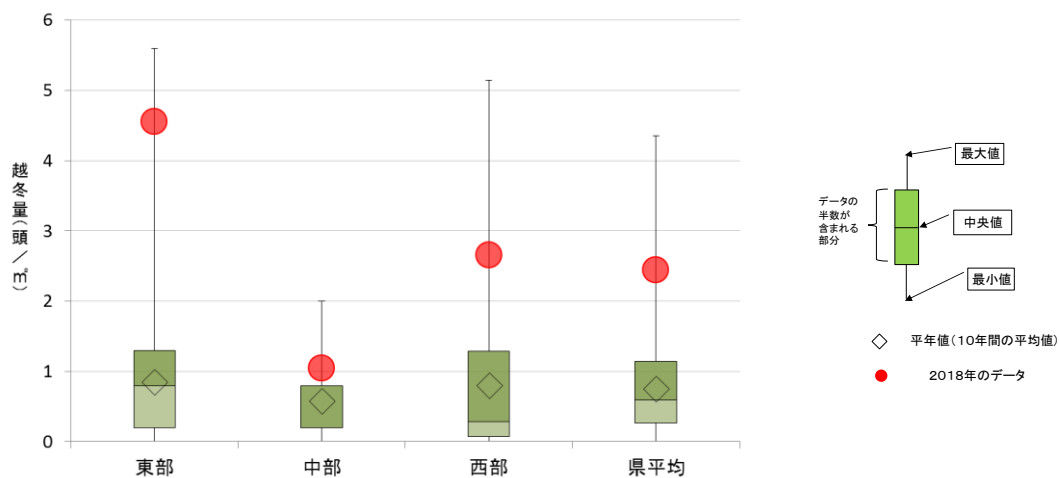


図4 チャバネアオカメムシの地域別越冬量 (2018)

問い合わせ先：静岡県病害虫防除所 (TEL: 0538-36-1543)